

【名 称】青山歴史村

【所在地】丹波篠山市北新町48番地

【指定番号】第5号

【指定年月日】平成29年8月25日

【構 造】

- ①桂園舎（主屋）（木造平家建）
- ②長屋門（旧澤井家長屋門）（木造平家建）
- ③北土蔵2棟（古文書館）（土蔵造2階建）
- ④南土蔵1棟（版木館）（土蔵造2階建）
- ⑤北門土塀

【敷地面積】2,902.69 m<sup>2</sup>

【建築面積】631.79 m<sup>2</sup>

【延床面積】718.41 m<sup>2</sup>

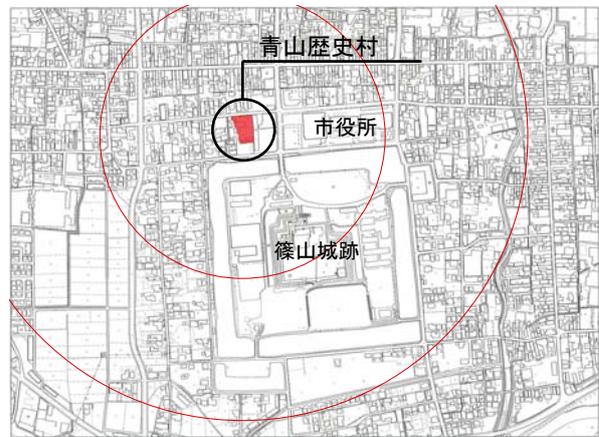
【建築年代】江戸後期～明治初期



青山歴史村

【建造物の由来・沿革・特徴】

青山歴史村は、桂園舎（主屋）を中心に、3棟の土蔵、旧澤井家長屋門などから成り立つ。版籍奉還後、旧追手門西側約10軒の武家屋敷地を一つの区画にまとめ、旧篠山藩主青山家の篠山における別邸として整備され、藩政文書とともに青山家ゆかりの品々や篠山藩校「振徳堂」の蔵書などを所蔵、公開している。昭和62年（1987）



位置図

から青山歴史村として一般公開されているが、平成10年（1998）に管理していた財団法人青山会から全資産を寄付されたのを契機に、改めて整備し現在に至る。

【指定理由】

青山歴史村は、明治時代以降に青山家の別邸として整備された建造物と共に、桂園舎、旧澤井家長屋門など、他の場所にあった建物が移築され、保存公開されていることが貴重である。

また、藩政資料や藩校の資料等が保存公開されており、教育熱心であった青山家を慕う市民に、青山家ゆかりの場所として親しまれている。

さらに、当該敷地は大手から大書院に至る観光の主要ルートに隣接し、大正ロマン館（H27 景観重要建造物指定）、丹波篠山デカンショ館、市指定文化財高城屋敷門、北堀、石垣など他の文化遺産群と共に一体的な歴史的街区として景観に寄与しており、欠かすことのできない建造物である。